

# RESPONSIBLE CARE REPORT 2025

レスポンシブル・ケア報告書



お問い合わせ先

関西熱化学株式会社 RC推進会議事務局  
TEL：06-4300-5366 (CSR推進部)  
FAX：06-6491-9681



## 表紙について

親会社が変わるという大きな変革が起きましたが、改めて、「6拠点が一致団結して、未来を切り開いてゆこう」との思いを込めデザインしました。  
ひとり一人は細くて弱い蔓でも皆が一致団結することで強固な縄となり、6つの拠点(縄)が鎖の様に繋がって一体となる。そして、その縄を神戸製鋼所と関西熱化学グループのコーポレートカラーを使って表現してみました。



2025年10月  
関西熱化学株式会社  
取締役社長

辻川 昌徳

「レスポンシブル・ケア (RC) 報告書2025」発刊にあたり一言  
ご挨拶申し上げます。

関西熱化学グループでは、「社会との共生」を掲げ、2002年より  
導入したレスポンシブル・ケア (RC) 活動を通じて、環境保護、  
保安防災、労働安全衛生および品質の維持向上に積極的に取り組  
み、進化を続けてまいりました。

このレスポンシブル・ケア (RC) という言葉ですが、実は化学  
業界特有の考え方であり、1985年にカナダで誕生し、全世界へと  
広がり、当時の親会社である三菱化学が1998年に導入し、関西  
熱化学も2002年に導入しました。「レスポンシブル・ケア (RC)」は、  
『製品のすべてのライフサイクルにおいて、健康・安全・環境に  
配慮することを経営方針のもとで公約し、自主的に環境安全対策  
の実行、改善を図っていくこと』を目指しています。

ご存知の通り、昨年10月末に親会社が神戸製鋼所変わった  
わけですが、神戸製鋼所の皆さんは「レスポンシブル・ケア (RC)」  
という言葉に馴染みがありません。どちらかというと「RCって何？」  
という方の方が多いと思いますが、関西熱化学グループは、  
「レスポンシブル・ケア (RC)」という言葉や考え方を大切にしたい  
と考えています。この考え方は、40年前に提唱されたわけですが、  
先進的で非常に優れた考え方だと思いますし、企業力の源泉でも  
あると考えていますので、20年を超える活動に一層の磨きを掛け、  
未来へ向かって、更なる進化を続けましょう。

さて、昨年度のレポートにおいて、関西熱化学グループの製品に関する特集を組んだところ、「自分が  
勤めている会社のことが知れて良かった。」とのご意見を多く頂き、従業員の皆さんは、意外に会社の  
ことを知らないということが分りました。

そこで、今年度は、もう少し踏み込んで、各会社、場所ごとに自部署紹介の様な記事を意識して  
作成してみました。初めての試みで、作成側も半信半疑での作業となったので、上手く表現できていない  
かもしれませんが、本レポートを通じて、当社グループの考え方や取り組みに加え、製品・サービスや  
各事業場へのご理解も頂ければと思っていますので、今後も、色々なご意見を頂ければ幸いに存じます。

ご安全に

## 中期計画スローガン

 **Go Forward 25** 明るく 元気に 前向きに

## 関西熱化学グループ基本理念

### 経営理念

**「人を財とし、自然を財とし、新たな価値を創造する」**

#### 人を財とし

関わる全ての「人」を財産として考え、行動します。

#### 自然を財とし

「自然」を財産として考え、地球環境の保護、限りある資源の有効活用のため、行動します。

#### 新たな価値を創造する

「人」「自然」の融合から、新たな価値創造へ向け、挑戦し続けます。

### 安全第一主義

**「安全なくして経営なし」**

### 行動原理

**「Be Creative 変革への挑戦と価値の創造」**

## INDEX

ごあいさつ	1
RC活動の取り組み	3
2024年度RC活動目標と実績	4
RC行事	4
環境への取り組み	5
コンプライアンスへの取り組み	6
情報セキュリティへの取り組み	7
関西熱化学グループの拠点紹介	8
会社概要	18

対象期間 この報告書は2025年度版として、2024年4月1日～2025年3月31日までの関西熱化学および関西熱化学グループのRC活動に  
対象範囲 関する活動実績に基づいて作成しました。

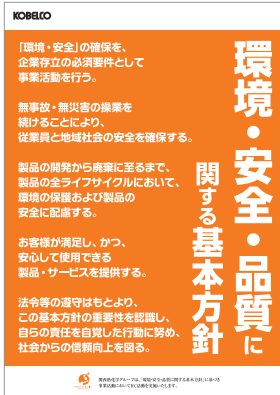


# RC活動の取り組み

関西熱化学グループでは、RC活動を企業活動の根幹かつ経営の最も重要な柱の一つと位置付け、環境・安全・品質に関する基本方針（RC基本方針）を制定し、グループ丸となってRC活動を遂行しています。

## RC基本方針

「環境・安全」の確保を、企業存立の必須要件として事業活動を行う。  
無事故・無災害の操業を続けることにより、従業員と地域社会の安全を確保する。  
製品の開発から廃棄に至るまで、製品の全ライフサイクルにおいて、環境の保護および製品の安全に配慮する。  
お客様が満足し、かつ、安心して使用できる製品・サービスを提供する。  
法令等の遵守はもとより、この基本方針の重要性を認識し、自らの責任を自覚した行動に努め、社会からの信頼向上を図る。



RC基本方針ポスター

## RC活動のPDCAサイクル

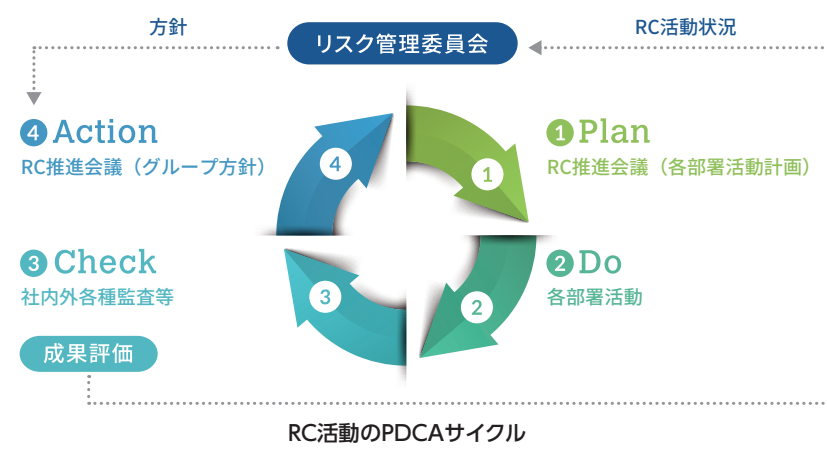
### Responsible Care (RC) 活動とは

化学工業界における、企業が開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに至る全ての過程において、自主的に「環境・健康・安全」を確保し、活動の成果を公表し社会との対話・コミュニケーションを行う活動を『レスポンシブル・ケア (Responsible Care)』と呼んでいます。社会からの要望や期待に沿って「環境・健康・安全」を確保するように努力しています。

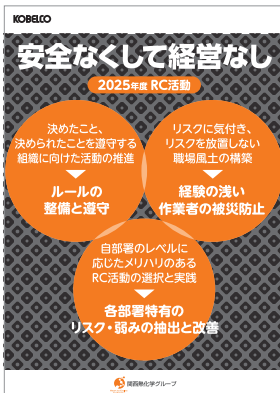


関西熱化学グループでは、関西熱化学およびグループ会社の代表から組織されるRC推進会議において、当該年度のRC活動の成果およびリスク管理委員会の方針に基づいて環境保全、保安防災、労働安全衛生、化学品安全・製品品質に関するRC活動方針と重点項目を定めます。各部署は、グループ方針・重点項目に沿って活動計画を策定し（Plan）、活動を実践します（Do）。社内外の各種監査等で、より効果的な取り組みに繋げるための改善事項を抽出し（Check）、RC推進会議

において次年度の活動方針と重点項目を定めて、全社に発信します（Action）。グループ全体でPDCAサイクルを循環させ、改善を図りながらRC活動に取り組んでいます。  
2025年度は、前年度のRCトラブルの原因や傾向から、「ルールの整備と遵守」「経験の浅い作業員の被災防止」「各部署特有のリスク・弱みの抽出と改善」をRC活動重点項目に設定し重点指向でメリハリのあるRC活動を実践しています。



RC活動のPDCAサイクル



RC活動方針ポスター

# 2024年度RC活動目標と実績

項目	目標	実績
環境	環境重大トラブル『ゼロ』	環境重大トラブル1件
保安防災	保安事故『ゼロ』	目標達成
安全	休業、不休業労災『ゼロ』	休業労災1件、不休業労災2件
品質	品質大クレーム以上・品質不適正『ゼロ』	目標達成

## RC行事

関西熱化学グループでは、各部署でのRC活動をより活発で有効な活動とするために様々な取り組みを行っています。

### RCパトロール

7月の全国安全週間に合わせて、各場所のRC活動状況の確認およびRC活動のレベルアップを目的に、RC推進会議議長（関西熱化学社長）によるRCパトロールを実施しています。  
2024年度は尼崎・中島、大阪茨木、加古川、四日市の4地区を巡回し、各部署からは、「部署特有の弱みの分析」や「最も優先的に取り組んでいる課題」に関して説明がありました。辻川議長から、各場所に対する激励と、改善に向けた気付き事項のフィードバックを行うとともに、「自部署の弱みや安全のポ

イントが何かを皆でよく話し合っ改善していくことがRC活動の向上に繋がる」とのメッセージが伝えられました。



加古川工場原料課



四日市分析センター

### RC大会

「RC活動に関する各部署の事例を発表し、これを共有する機会を設け、活動の活性化とモチベーションの高揚を図ること」を目的に、第19回関西熱化学グループRC大会を11月に開催しました。  
グループ各部署から、安全への取り組み、作業環境改善、業務効率化、トラブル防止などについて、職場の改善活動事例全8件が発表され、優秀な上位3部署が表彰されました。  
また、昨年に引き続き懇親会が開催され、活発な交流が行われ、グループ全体のRC活動の活性化に繋がるよい機会となりました。



第19回RC大会

最優秀賞	関西熱化学 加古川工場 製造部 原料課B班	「配合スクレーパーシュートの「詰り防止対策」
優秀賞	関西熱化学 加古川工場 安全衛生協力会 山九プラントテクノ株式会社	「多管式熱交換器「管束を少し抜く」作業のリスク低減」
優良賞	関西熱化学 研究開発センター コークス開発グループ	「コークス粉碎室の発塵量低減」

### 教育・研修

2024年度は、「ISO研修」に加え、「改善の手順研修」や「個別相談会」「QC7つ道具研修」を行いました。ISO研修では、日々の安全・環境・品質に関する管理やより有効な内部監査に繋げるために、外部講師によるマネジメント研修を実施しています。研修は、規格の要求事項の理解を深める【初級】、内部監査員としての必要な力量を得るための【中級】、内部監査員リーダーの養成を目指す【上級】と、3つのコースに分かれ、修得したいレベルに応じて受講できるカリキュラムを用意しています。各職場における生産活動上の問題解決能力の向上を図ることで、製品の品質維持・向上に繋げています。



ISO研修（9001初級）

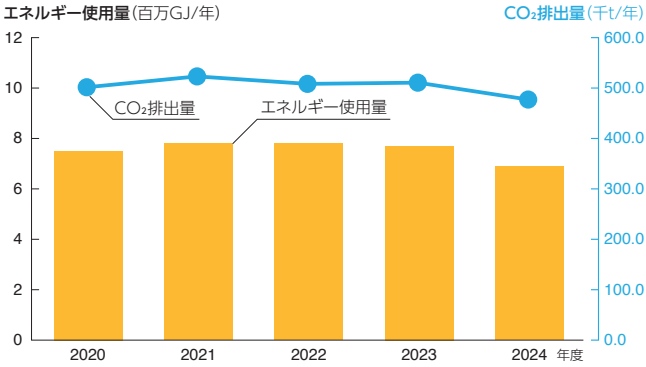
# 環境への取り組み

## 関西熱化学加古川工場 環境負荷

### 地球温暖化抑制

コークス製造では、エネルギーとしてコークス炉ガスなどの燃料や電気等を使用しています。環境関連設備の増設・増強などの電気使用の増加要因はあるものの、安定操業に取り組み、定期的な設備メンテナンスを継続することでエネルギー使用量の抑制を図っています。

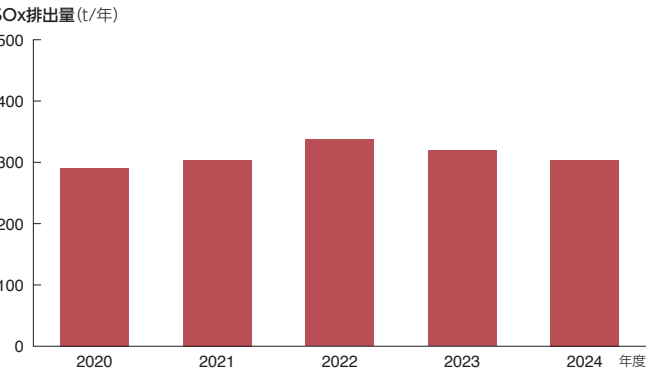
エネルギー使用量およびCO<sub>2</sub>排出量推移（加古川工場 試算値）



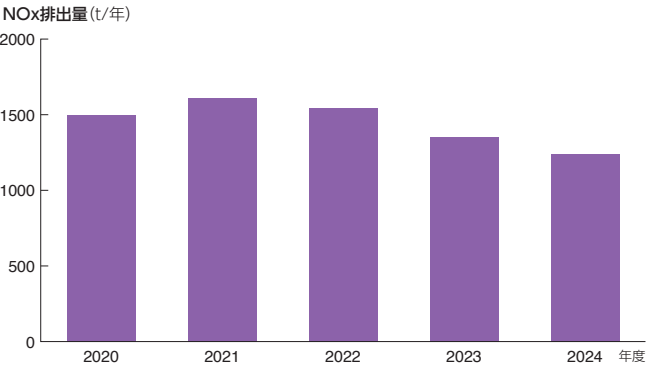
### 大気環境保全

加古川工場では、コークス製造に使用する燃料ガスに硫黄分やアンモニア分等が含まれており、燃料ガスの燃焼後の排ガスには、SO<sub>x</sub>やNO<sub>x</sub>が含まれています。事前に燃料ガス中の硫黄分・アンモニア分等を除去するとともに燃焼管理を強化することで大気中への排出抑制を図っています。

SO<sub>x</sub>排出量推移（加古川工場）



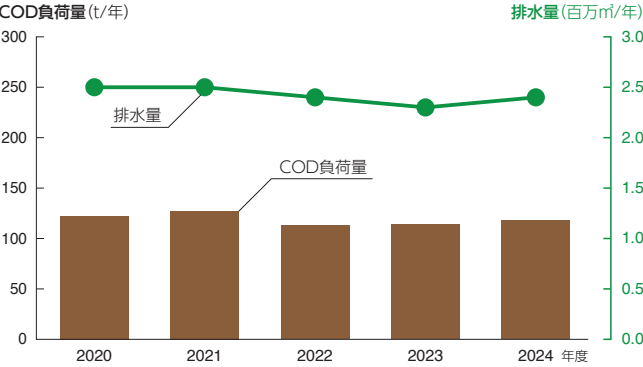
NO<sub>x</sub>排出量推移（加古川工場）



### 水環境保全

コークス製造の過程でフェノール等の有機物を含んだ凝縮水が発生します。これを活性汚泥処理などの排水設備で適切な基準まで処理することで、放流時の海域へのCOD負荷の低減を図っています。また、貯炭場の散水等には、水を循環使用することで工業用水使用量の抑制を図っています。

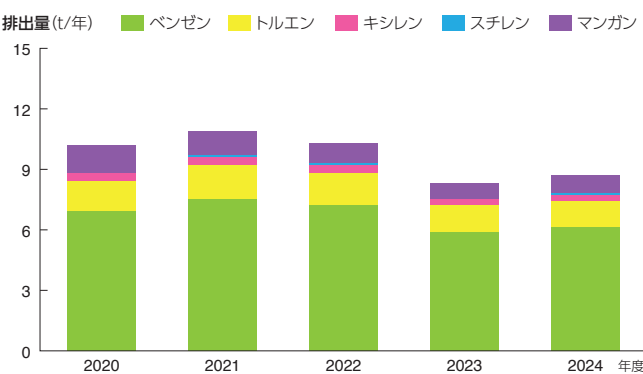
COD負荷量および排水量推移（尼崎+加古川）



### 化学物質適正管理

PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律）に従い、対象となる物質について国に対して移動量と排出量の報告を行っています。

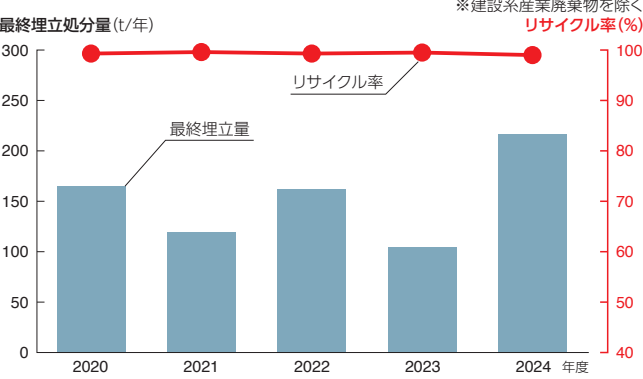
PRTR法対象物質排出量推移（加古川工場）



### 廃棄物削減

加古川工場から排出される産業廃棄物は、民間の産業廃棄物処分業者に処分を委託しており、委託した廃棄物が適正に処分されていることを定期的に確認しています。

産業廃棄物最終埋立量およびリサイクル率推移（加古川工場）



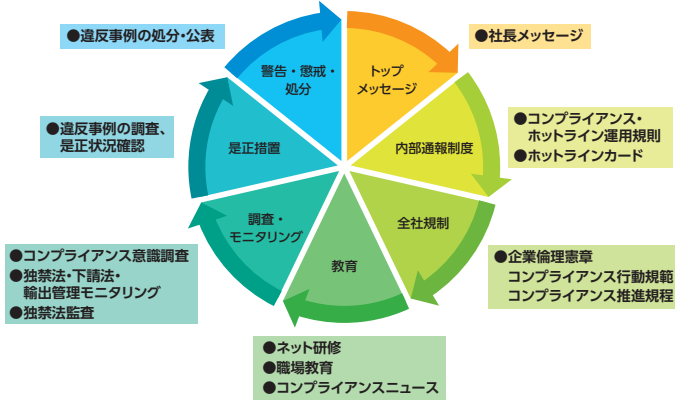
# コンプライアンスへの取り組み

「コンプライアンス」とは、単なる「法令遵守」だけではなく、職場での行動規範、企業としての倫理、さらには社会と共生し、信頼関係を築くための心がけを含めた社会的なルールを遵守することを意味しています。

関西熱化学グループでは、コンプライアンスを経営の重要な課題として位置付け、コンプライアンスの推進に努めています。

## コンプライアンス推進活動

関西熱化学グループでは、以下のサイクルをまわすことで、コンプライアンスの推進に取り組んでいます。



2024年度は、定常的な活動に加えてリスクが高いと考えられる項目に関する研修を行いました。

項目	実績
交通安全セミナー	損害保険会社の方を講師として、交通安全に関するセミナーを開催
経済安全保障セミナー	兵庫県警の方を講師として、技術流出等に関する情勢に関するセミナーを開催
下請法研修	下請法違反が発生したことを受け、基本的な内容の教育を実施

## 人権への取り組み

関西熱化学グループでは、「人権意識を高め、人々の多様性を尊重し、社会から認められる、心豊かな企業集団を目指す」という基本方針のもと、従業員一人ひとりの人権意識を高める活動に取り組んでいます。2024年度は従業員全員を対象に「多様性とアンコンシャスバイアス（無意識の偏見）」というテーマで研修を実施しました。

また、加古川市企業人権・同和教育協議会（企同協）が人権活動の推進と人権意識の高揚を目指して募集した「キャッチコピー」・「ロゴマーク」に社内優秀作品の中から計15作品を企同協別府ブロックに推薦提出しました。

キャッチコピー	何気ない かけた言葉に傷つくことも 発する前に考えて
	咲かそうよ！ 笑顔が増える明るい社会！ 否定をせずに認め合いみんなで築く素敵な未来！
	大丈夫だと思っても人の心はわからない、気づいてあげて小さな変化
	思いやる気持ちと寄り添う言葉 繋がる絆と広がる笑顔
	言葉に潜む 見えない暴力 声出す前に考えよう
	あなたの個性・私の個性 違いがあっても当たり前 認め合うことから始めよう
	行動しないと変わらない 一人ひとりが勇気をもって 目指せ差別のない社会
	人は違って当たり前 強要せずに協調し みんなで築く明るい社会
	「どうしたの？」一声かけよう私から 気づいた違和感 大事なシグナル
	些細な変化に気付ける感性 育てて守る仲間と笑顔



## 健康経営優良法人認定

関西熱化学は、健康優良法人の認証を2018年度に初めて認証されてから8年連続して取得しています。



## フィジカルヘルスケア・メンタルヘルスケアへの取り組み

毎年2回の健康診断を実施し、産業医および保健師による面談を通じて、疾病予防や健康管理をサポートしています。2024年度も「なりたいたい体をつくる食生活」をテーマとした健康支援研修を実施しました。

メンタルヘルスケアでは、毎年、全従業員向けのセルフケア研修と管理者向けのラインケア研修を学習し、従業員が互いにより良い関係を築くための一助となっています。引き続き従業員と会社で協力しつつ、快適な職場づくりを推進してまいります。



# 情報セキュリティへの取り組み

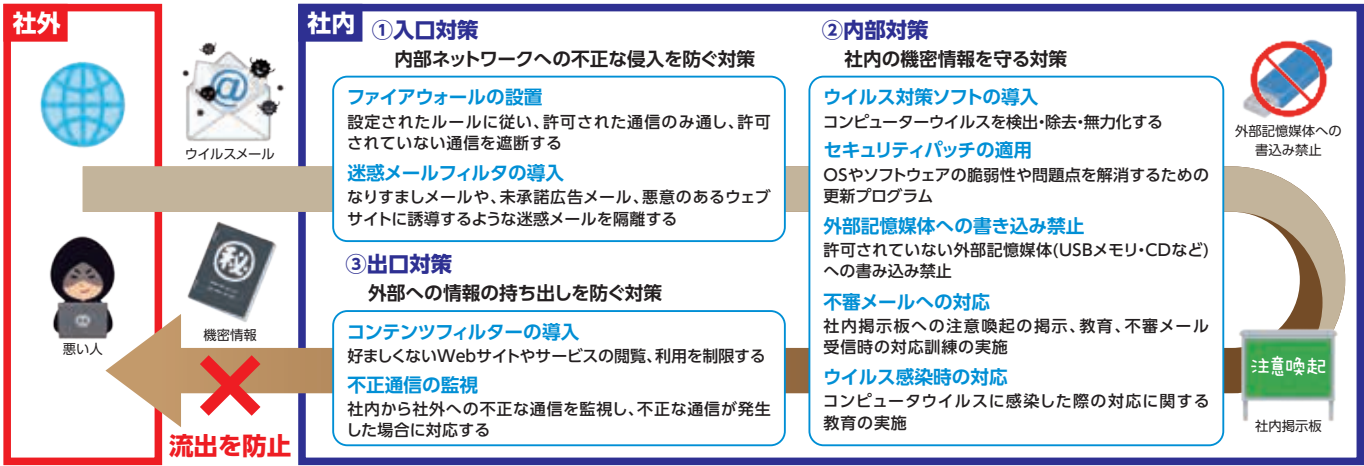
企業には多くの情報資産が存在し、IT（情報技術）の普及に伴い情報資産の価値は、ますます高まっています。重要な情報資産を守るため関西熱化学グループでは、様々な「情報セキュリティ」対策に取り組んでいます。

## 関西熱化学グループ全体の情報セキュリティ推進体制

関西熱化学グループは、情報セキュリティの強化を図るため関西熱化学社長を議長とする「情報セキュリティ推進会議」を設置、本会議で決定された情報セキュリティ対策は各部署の推進担当者を通じて全従業員へ周知されています。

## 情報システムセキュリティにおける対策

複雑化・高度化が進むサイバー攻撃など、増大する情報システムセキュリティリスクに対応するため、関西熱化学グループでは、「入口」・「内部」・「出口」などに様々な技術的対策の導入を行っています。

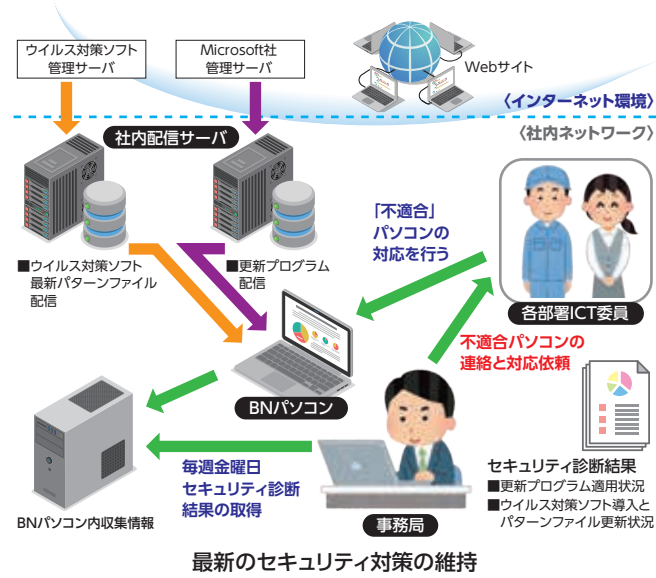


情報システムセキュリティ対策

## セキュリティ診断情報の活用

パソコンに導入されているウイルス対策ソフトのパターンファイルを最新に保つこと、パソコンに必要な更新プログラムが適用されていることは、情報システムセキュリティ対策において、非常に重要です。

関西熱化学グループでは、利用者全員のパソコンに導入されているウイルス対策ソフトのパターンファイル更新状況や更新プログラム適用状況を確認し、最新のセキュリティ対策を維持しています。



## 情報セキュリティ教育・訓練

継続的に教育・訓練などを実施し、従業員の知識・対応の習得と維持・向上、啓発に取り組んでいます。

### 〈主な教育内容〉

対象	実施内容
全従業員	情報セキュリティの概念、サイバー攻撃の動向、関西熱化学グループのインシデント発生状況報告・関西熱化学グループの情報システムを利用する際のルールの紹介、理解度テスト、標的型攻撃メール訓練など実施
新入社員	情報セキュリティの概念、トラブル事例・情報システムセキュリティ対策・情報システム利用時の遵守事項の紹介
階層別研修	情報セキュリティトラブル事例・標的型攻撃メール対策・電子メール誤送信対策の紹介

# 関西熱化学グループの拠点紹介

関西熱化学グループは2024年11月より、KOBELCOグループの一員となりました。

この機会に関西熱化学グループの事業拠点について、改めて各拠点の所在地、事業内容、特徴的なRC活動の取り組み・地域社会とのコミュニケーションについて紹介します。

各拠点が、皆さんにとって、より身近な存在になればと思います。

## 関西熱化学 加古川工場

加古川工場は、神戸製鋼所加古川製鉄所の中に位置し、高炉用コークス、コークス炉ガス、コールタール、液体アンモニア、粗製ベンゼン、硫酸を製造しています。安全最優先で様々な取り組みを展開しています。

## 安全への取り組み

加古川工場では、PDCAを確実に廻していくことを重視して安全活動を展開してきました。

近年、気候変動による夏季最高気温の上昇が続いていることから熱中症対策に積極的に取り組んできました。具体的には、作業応援体制の整備や通常の氷よりも体温を下げる効果がある“アイススラリー”の飲用、現場で作業後すぐに休憩できるように休憩所の設置等を進めてきました。

また、2023年度より労働安全衛生規則が改正されたことによる対応として、化学物質に対するリスクアセスメントの実施や、呼吸用保護マスクが顔に適切にフィットしているか評価するフィットテストを実施しました。

その他として、守りにくいルールの改善や製造現場が展開する安全活動の支援、過去に発生した労働災害の有効性確認、危険感受性向上を目的としたV・R（バーチャル・リアリティ）体感教育の実施等の安全活動に取り組んでいます。

これら様々な安全活動を実施してきた結果、2024年度については年度無災害を達成しました。



休憩所の設置



保護マスクのフィットテスト



V・R（バーチャル・リアリティ）体感教育

## 保安事故防止への取り組み

加古川工場では、10月の高圧ガス保安促進週間にあわせて、保安意識の高揚および保安活動の促進を図るために、外部講師による保安教育を実施しています。法令知識や保安係員としての職務、高圧ガスの事故事例やヒューマンエラー防止、阪神淡路大震災による高圧ガス施設の被害に加えて、ヒヤリハット活動と事例紹介等について学びました。



高圧ガス保安教育



保安防災訓練の実施

加古川工場では、保安事故等の緊急事態が発生した際に、自衛防災組織に求められる機能が適切に発揮できるか確認することを目的として、工場総合防災訓練を実施しました。

2024年度は、石炭を配合する配合槽の上に設置しているベルトコンベア火災を想定し、通報と初期消火、現地指揮所と対策本部の連携を確認しました。



総合防災訓練

環境への取り組み

コークス炉や他設備の部分更新やレンガ積み替え等による補修を行うために廃棄物（がれき類）が発生します。廃棄物のほとんどは再資源化によるリサイクル処理（2024年度リサイクル率95%）を行っていますが、一部は最終埋立処分をしています。コークス炉で使用しているがれき類の一部についてリサイクル処理を開始しました。

リサイクル率の更なる向上を目指して、がれき類のリサイクル処理検討を実施しており、検討が完了次第、実行に移していく予定です。



がれき類の保管場所

社会とのコミュニケーション  
「トライやる・ウィーク」

加古川市では、地域の企業などで実施する体験学習「トライやる・ウィーク」が中学二年生を対象に行われています。加古川工場では、6月と12月に受け入れました。加古川市立浜の宮中学校の生徒2名と加古川市立別府中学校の生徒2名が参加し、工場全体の紹介と工場見学、道工具の使い方について体験学習を行いました。



工場の紹介(コークス史料館)

「地域清掃」

加古川市では、地域美化活動の一層の推進、浸透を図るためにアダプトプログラムを実施しています。加古川工場ではこれに参画し、通勤道路や周辺地域などの清掃を実施しています。



地域清掃

MCエバテック 加古川事業所

MCエバテック加古川事業所では、「3A（安全・安心・明るい）職場」を理念に5つの約束を活動目標とし、分析部門・炭素材部門・サービス部門、三位一体の活動を行うことでチームワークを展開し、事故・災害の未然防止を図っています。

安全に対する取り組み  
「守れない・守りにくいルール改善のためのパトロール」

製造部では、従来の職場3S状況の確認や危険状態、危険行為の指摘中心のパトロールから、守れない、守りにくいルールの改善を重視した管理職と安全担当による部内パトロールを実施しています。パトロール者が事前にSOPを読み合わせした後、現地でSOPを見ながら作業者の作業内容を確認し、作業者と直接対話をする事で、ルールが周知されているか、ルールの目的が理解されているか、現場に合っていないルールになっていないかなどを確認しています。管理者が現場作業に対する理解を深めるとともに、作業者と意見交換しながら守られていないルール、守りにくいルールの改善を図ることで動きやすい職場づくり目指しています。



部内パトロール

環境に対する取り組み  
「AC工場1系排ガス処理装置導入」

製造部AC工場では、当社が保有している最も生産能力の高い大型再生キルンの排ガス処理設備について、経年劣化による腐食、損傷が激しいことから、24年度に設備の更新を行いました。従来のバグフィルターを用いた排ガス処理方法からスクラバーによる湿式排ガス処理設備へ仕様を見直すことで、従来は、粉塵の除去に限定されていた排ガス処理を更新後の湿式排ガス処理設備では、循環している水に排ガスを気液接触させることで、排ガス中の粉塵だけでなく、汚染物質や臭気などを薬液中で処理することが可能となり、工場内の環境悪化のリスクの低減や大気汚染の防止に貢献しています。



湿式排ガス処理設備

社会とのコミュニケーション  
「トライやる・ウィーク」

加古川市で中学二年生を対象として、地域の企業などで毎年実施する職場体験学習「トライやる・ウィーク」が行われ、分析センターでは6月と11月に受け入れました。加古川市立別府中学校の生徒2名と加古川市立浜の宮中学校の2名が参加し、臭気判定試験やガスクロ分析、ホールピペット作業等の分析作業を体験していただきました。臭気判定試験では、人が感じるギリギリの濃度のバラ、キャラメル、濡れた靴下、桃、糞の匂いを体験し、嗅いだ匂いがどれか当てるクイズをしました。また、ホールピペット作業では、標線に合わせるのが難しく、真剣に取り組んでいました。体験最後には、「楽しかった!」との感想をいただき、分析に少し、興味を持っていただけたようです。



トライやる・ウィーク



## 関西熱化学 尼崎事業所

尼崎事業所は、昭和31年8月1日に産声をあげた関西熱化学発祥の地です。三菱化成工業株式会社、株式会社神戸製鋼所、尼崎製鐵株式会社3社の共同出資により、尼崎コークス工業株式会社として設立され高炉用コークス製造の専門メーカーとしてスタートしました。構内の敷地面積は甲子園球場の約3.3個分に相当し、現在はグループ事業5部署、テナント4社が所在しています。



尼崎事業所全景（画像 ©2025 Google、地図データ ©2025）



関西熱化学の創業記念碑

### 安全への取り組みと環境への取り組み

安全に対する取り組みとして定期的な安全立哨により、各ポイントでの一旦停止や指差し確認、階段昇降時は手摺を持つ等の安全指導と安全の意識づけを行っています。

構内で起こった顕在ヒヤリハットに対して改善や見直しが必要な案件については速やかに解決しています。

環境対策については、規定値を超えた排水を事業所外に出さないことが尼崎事業所の最大のミッションです。各設備から総合排水処理設備に送られる排水が基準値を超えた際は迅速に対応し、規定値を超えた排水が事業所外へ流出しないようにしています。

## 関西熱化学 研究開発センター

尼崎事業所内にある研究開発センターでは、主にコークス事業および炭素材事業に関する研究開発を、4グループ・33名体制で推進しています。

石炭・コークスの研究開発では、「高品質かつ低コストなコークス製造」を目指し、石炭がコークス化する過程で起こる様々な現象を解明するとともに、得られた知見を基に効率的な製造・管理技術を構築するべく取り組んでいます。また最近では、老朽化が進むコークス炉への負荷を低減する技術の開発にも注力しています。

炭素材分野では、活性炭に代表される多孔質材料の開発とその用途開発をおこなっており、世界最高水準の比表面積を持つ炭素材料の量産にも成功しています。これらのオンリーワン技術を武器に、将来のニーズを見据えた新たなテーマにも鋭意挑戦しています。



石炭・コークス・炭素材の分析風景

RC活動では「研究開発と一体となったRC活動の推進」を基本として掲げ、2007年から18年連続無災害を継続中です。地道な活動ではありますが、前年度の活動を振り返り、抽出された課題を次年度の重点項目に設定することで、継続的な改善を図るべく推進しています。

近年の若手所員の増加に伴い、2024年度からは「危険感受性の向上」に向けた教育にも取り組んでおり、経験の浅い若手でも危険を正しく察知できるよう、基本的なポイントを洗い出し、短時間で学べる教育プログラムを整備中です。また、長期無災害による慢心防止や活動の納得感の向上のため、「なぜRC活動を行うのか」などの目的をあらためて考える対話の場を設け、所員同士の意識共有を深める取り組みも進めています。

## MCエバテック 尼崎事業所

武庫川の東側、兵庫県南部大阪湾沿いにあります。従業員数は約180名

- 1) 精密洗浄；半導体、液晶装置、真空ポンプの部品をお預かりして洗浄し返却
- 2) 澱粉リパック；海外・国内の食用澱粉を小分け紙袋に詰め替えし納入
- 3) アクアクララ製造；膜分離した水にミネラル成分を配合し製品ボトルに充填し製造
- 4) 尼崎分析センター；材料分析、環境分析、オーダーメイド試験でデータ取得、結果報告を受託
- 5) 管理系業務；事業所内環境安全・品質保証、および人事、総務他の業務執行、構内緑化、工事を受託

### 安全に関する取り組み

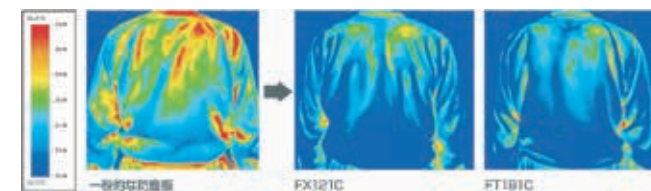
熱中症対策として、遮熱シートを導入し空調設備の電気代節約を見込んだ最適化や、従業員への熱中症に関する教育を実施しました。従来より通気性が高い無塵衣を導入し食品製造の安全を配慮しつつ作業者の熱負荷削減に取り組んできました。



遮熱シートで輻射熱抑制



熱中症の教育



右側が通気性の高い無塵衣（サーモグラフィー）

### 環境・保安防災に関する取り組み

環境側面の緊急事態対応として、精密洗浄で使用する薬液槽からの漏洩をシナリオレスで訓練しています。

保安防災側面の緊急事態対応として、分析で使用する試薬瓶に水を入れ床面に落下させ、初動対応訓練を行いました。また、オーダーメイド試験では、高圧ガスボンベの閉止、プラントの遮断訓練を行っています。

### 社会とのコミュニケーション

尼崎事業所周辺のボランティア清掃活動を昼の休憩時間に定期的に行っています。また、年1回尼崎事業所で働く家族参加型のボランティア清掃活動を行っています。



ボランティア清掃活動



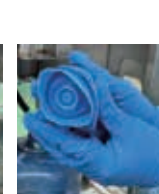
挟まれに関する教育として、手を模擬したキャップを手袋に入れプラント可動部で加圧し変化する状態を運転員が体験する学習を行いました。

業務上の車の運転が多い部署では、後部の視認性が悪くなる範囲を社有車で体験しました。

安全への感性を高める目的で独自の視点でシミュレーションし従業員に体感教育として行ってきました。



プラント可動部



変形キャップ



車両体感教育



土壌での堰止め



薬液の回収



試薬瓶落下試験



プラント遮断訓練

家族参加型の清掃活動終了後、スポーツ活動や近郊の見学会を行ってきました。しかし、近隣のスポーツ活動場の営業が中止、2024年に神戸製鋼グループの一員になったことで、花園ラグビースタジアムでの応援に参加しました。



花園ラグビースタジアム応援ツアー



## 尼崎ユーティリティサービス

尼崎ユーティリティサービスは、関西熱化学尼崎事業所内に拠点を構えています。現在21名の社員が所属しています。

私たちは「お客様への製品の安定供給」を理念に掲げ、尼崎事業所地区内のユーザー様、および近隣の日油様へ電気、蒸気、窒素、純水を供給しています。また、総合排水設備と水素製造設備の受託運転も手掛けており、365日24時間体制で稼働しています。

特筆すべきは、1993年10月の会社設立以来、無災害を継続していることです。1994年10月の操業開始から、2024年11月1日には無災害11,111日を達成し、2025年6月現在も約11,300日余りの無災害を継続中です。これもひとえに、お客様への安定供給と安全運転への私たちの強いコミットメントの証です。

近年は、人材育成と設備の老朽化対策に注力しており、働きやすい職場環境の実現に向けた5直3交替体制への移行を進めています。今後も社員一丸となって、ユーティリティの安定供給と無災害運転の継続に努めてまいります。

### 安全への飽くなき追求:ヒヤリハット活動の深化

当社の安全活動で特に力を入れているのは、ヒヤリハット活動です。特に「作業・社内」ヒヤリハットの報告件数を50%以上にすることを目標としており、2024年度の実績では71%を達成しました。

ヒヤリハット報告は、単なる件数増加を目的としているわけではありません。私たちは、報告されたヒヤリハットに対し、朝のミーティング後に部長、課長、主任などの参加可能なメンバーで現地へ赴き、全員で対策の有効性を検証し、類似ヒヤリハットの撲滅に向けた水平展開を徹底しています。これにより、潜在的なリスクを早期に特定し、安全文化の醸成に繋がっています。



ヒヤリハット現地確認の様子

### 実践的な訓練と教育による保安能力の向上

保安対策としては、停電時の模擬操作訓練、電気事故を想定した保安訓練、高圧ガスの模擬操作訓練などを計画的に実施し、万が一の事態に備えています。

さらに、2025年度からは、運転オペレーターに必須となる機械・電気的基础教育についてEラーニングを導入し、社員一人ひとりの知識レベルの向上を図ってまいります。

### 多角的なパトロールで安全・品質・環境を守る

安全、保安防災、品質、環境面での総合的かつ実践的な活動として、多岐にわたるパトロールを実施しています。

#### ●尼崎水素販売様との合同設備パトロール

運転管理を受託している水素製造プラントにおいて、連携を強化し、安全運転に貢献しています。

#### ●工事会社様との合同パトロール

電気・蒸気の需要が低下するGW、夏季休暇、年末に行う定修工事に合わせ、工事会社様との合同パトロールを実施し、安全な工事遂行を徹底しています。

#### ●夜間パトロール

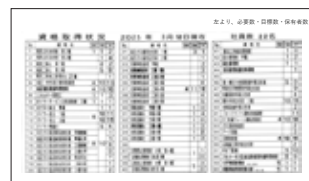
日没の早い時期の夕方に先駆けて夜間パトロールを行い、夜間の危険因子を早期に発見・除去しています。

#### ●ユーティリティライン環境パトロール

プラントロスを発見するため、ユーティリティラインの環境パトロールも実施し、環境負荷の低減に努めています。



資格取得者



資格取得状況掲示板

### 難関資格取得に見る人材育成への注力

安全・安定運転の基礎となる知識習得のため、資格取得にも力を入れています。運転に必須の高圧ガス関連資格はもちろんのこと、なんと2024年度は第三種電気主任技術者や特級ボイラー技士といった超難関資格の取得にも成功しました。これは、日頃の努力の賜物であり、職場の誇りとして皆で喜びを分かち合っています。

今後も尼崎ユーティリティサービスは、安全、環境、保安防災、品質への取り組みを通じて、地域の皆様、そしてKOBELCOグループの一員として、社会に貢献してまいります。

## 関西熱化学 本社

関西熱化学の本社はJR尼崎駅を北に少し歩いたJRE尼崎フロントビルの8階にあり、ここには総務部、人事部、経理財務部、経営企画部、事業推進部、CSR推進部、監査室の各部署とMCエバテック本社が執務しています。そして、関西熱化学とMCエバテックが一体となってRC活動を行っています。昼休み明けには全員でアクティブ体操Part2を行い、筋力の衰えを防止し転倒防止やリフレッシュを図っています。

防災面では自衛防災組織を編成し、火災訓練や避難訓練、全社対策本部訓練を計画的に実施しています。また、ビルの防災訓練にも参加しています。

環境面では環境省が策定した環境マネジメントシステムEA21の認証を受けて、地球にやさしい活動の展開と環境意識を高めていく活動を行っています。例えば、昼休みを利用したボランティア清掃として、毎月本社ビル周辺の通勤歩道や植え込みなどの清掃活動をはじめ本社地区のさまざまな部署の社員が一体となって、地域の環境美化に貢献しています。また、エコキャップ運動を通してワクチンを寄付する活動を行っています。そして、環境講演会を企画実施するなど環境意識教宣活動を行っています。



環境講演会



防災訓練



ボランティア清掃



エコキャップ回収活動

## MCエバテック 本社

MCエバテックの本社は、関西熱化学本社が入居するJRE尼崎フロントビルの同じフロアにあります。

ここでは、社長、コーポレート担当役員、コーポレート部門（総務、経営企画、経理財務、技術管理）のほか、サービス事業部、炭素材事業部、分析事業部の従業員が執務しています。なお、事業部は本社組織ですが現場に近い場所で業務を行う必要性から、精密洗浄事業部、アクアクララ六甲事業部は尼崎事業所で、また、炭素材事業部、分析事業部、アクアクララ六甲事業部の一部のメンバーは加古川事業所で、それぞれ業務を行っています。

本社ビルでは、関西熱化学の自衛消防組織に加わる形で共同して万一の事態への備えをしており、ビルの防災センターが主催する初期消火や避難訓練などの消防訓練にも参加しています。

社会貢献活動としては、MCエバテック発足10周年を迎えた2021年から「ドナルド・マクドナルド・ハウス神戸」(兵庫県立こども病院に併設された病气と向き合う子どもとその家族の滞在施設) に対して毎年寄付を行うとともに、自社商品であるアクアクララのサーバーと水を無償で提供しています。また、子どもたちが健やかに育つ環境を提供したいとの思いから、西宮市の小学生サッカー大会に長年にわたり協賛しています。



JRE尼崎フロントビル



ドナルド・マクドナルド・ハウス 神戸



## MCエバテック つくば分析センター

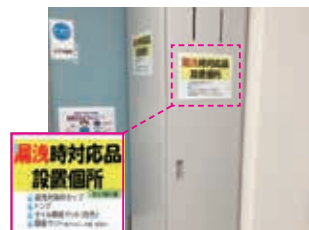
つくば分析センターは、茨城県つくば市観音台にある「つくばリサーチパーク羽成」工業団地内に所在しています。主に材料等から発生するVOC（揮発性有機化合物）分析、環境測定分析、環境調査事業を行っており、現在、約90名の従業員が在籍しています。VOC分析はつくば分析センターで全国区対応をしており、環境測定分析ならびに環境調査は、主に地域社会の環境保全・安全の向上に貢献しています。

### 【漏洩訓練を行いました】

漏洩対策として「漏洩時対応マニュアル」を作成し、これに基づき訓練を実施しています。昨年の訓練で提案された吸着マットの漏洩箇所への敷設、吸着したマットの処理、漏洩箇所のチェックなどの手順を確認しました。今年度の訓練では、漏洩時に使用する吸着マット等の対策品を分かりやすい場所に設置する提案があり、早速センター内数か所に設置しました。



訓練の様子



対策品設置個所の案内

### 【理学療法士による腰痛予防セミナー開催】

『腰痛予防から始める体に優しい姿勢と働き方』について、理学療法士による腰痛予防セミナーを開催しました。腰痛の方、予防したい方が、腰痛になるメカニズムや業務時の姿勢をちょっとした工夫で腰に負担の少ない姿勢に調整する方法（「悪い姿勢」を「まあまあな姿勢」に調整する）など実践を交えた講義を受講しました。



セミナーの様子



セミナー内容

### 【地域イベントへの協力】

隣接する会社が主催する地域密着型のイベント「こちちガーデンフェスタ 〜ありがとうの輪〜」が開催された際に、当センターの来場者用の駐車場を提供しました。

当日は延べ350名以上の来場者を迎え、ステージイベントのほか、地域マルシェやキッチンカー出店、フラワーマーケットや端材販売、重機試乗体験、丸太切り体験で大いに盛り上がり、ファミリー層を中心に幅広い世代が楽しめる多彩な催しとなりました。



こちちガーデンフェスタ

### 【つくば地区企業交流会(ボーリング大会参加)】

つくば分析センターが所在する地区の企業が参加する「つくばリサーチパーク羽成企業連絡協議会」と、同じくつくば市の「つくばテクノパーク豊里企業連絡協議会」と企業間の交流を深める目的で、協議会交流ボーリング大会が開催され、つくば分析センターからも6名が参加しました。当日は11社54名が参加し大いに盛り上がりました。



優秀な成績で特別賞を受賞(ボーリング大会)

## MCエバテック 四日市分析センター

四日市分析センターは、三重県四日市市の三菱ケミカル(株)東海事業所(大治田工場)敷地内に所在しています。主に環境測定分析、環境調査・コンサルティング事業を行っており、現在、約50名の従業員が在籍しています。環境測定分析ならびに環境コンサルティングに係わる諸サービスの提供を通して、地域社会の環境保全・安全の向上に貢献しています。

### 【四日市地区浸水対策】

四日市大治田地区では、大雨の際に場内水路増水に伴って周辺道路が冠水し、浸水のリスクがあります。四日市分析センター/営業所では、大雨が予測される日や、降雨期の週末に、建屋内への浸水対策として、止水板の設置、給水ポリマーおよびブルーシートを用いたバリケードの設置を行い、建屋内への浸水を防いでいます。また、台風の時期等の大雨が予想される時期には、社有車を場外の駐車場に移動する等の対策も実施しています。



冠水した四日市分析センター



玄関からの浸水防止対策

### 【漏洩対応訓練】

日常業務の中で発生する可能性のある化学物質の漏洩を想定し、毎年11月に各チームに漏洩対応訓練を実施しています。床面や流し台への試薬類の漏洩、ガスの漏洩など、想定される状況は様々ですが、漏洩発生時の人員保護や漏洩の拡大防止、清掃・除去作業等の対応手順を訓練することで、実際の事故発生時に正確な判断と行動ができるよう備えています。



漏洩の拡大防止



清掃・除去作業

### 【観測井戸】

水質汚濁防止法に係る特定施設の届け出内容の変更に伴い、三重県生活環境の保全に関する条例に基づく地下水のモニタリングが必要となりました。MCCとの協議の上、事業敷地内に1か所観測井戸を設置し、年1回の地下水モニタリングを実施することとなりました。今後は、毎年6月に地下水採取および分析を実施し、汚染がないことを確認していきます。



観測井戸(掘削)



(完成)

### 【ゴミゼロ運動】

MCC東海事業所主催のゴミゼロ運動が5月25日(土)に開催され、事業所周辺の清掃活動を行いました。ゴミゼロの語呂合わせで毎年5月30日前後の土曜日に開催されており、2024年は四日市分析センターと営業所から(ご家族含め)22名が参加しました。近年は地元自治会の方々にもご協力いただいて、共同して清掃活動を行っています。



MCET参加者22名 熱中症対策もばっちり!





## MCエバテック 熊本分析センター

熊本分析センターは、熊本県宇土市にあります。分析技術グループ10名、フィールド技術グループ12名、九州営業所5名の総計27名が在籍しています。

主な事業：水質検査・大気調査・作業環境測定・悪臭測定・騒音、振動測定・土壌、産業廃棄物分析

### 【安全に対する取り組み】

熊本分析センターおよび九州営業所では、顧客先への外勤業務が多いため、交通事故等の災害を防止するために、様々な取り組みを行っています。具体的な活動として、交通安全教育、通勤交通のためのKYマップ作成、交通災害ハザードマップによる危険個所の把握と周知教育を行っています。

また、熊本県警主催の安全運転200日運動への参加等も推進しています。RC活動の重点項目として、アルコールチェックを毎日、出発時・帰社時に実施しています。



アルコールチェックの様子

### 【環境への取り組み】

エネルギー使用量削減（省エネ）活動の一環として、建屋照明のLED化、エアコンの新規更新対応を行い、全日電力量について前年度比4500kwhの削減に成功しました。2025年度以降も引き続き省エネ機器への切り替え、および無駄をなくすことで、電気使用量削減に努めていきます。



建屋照明のLED化

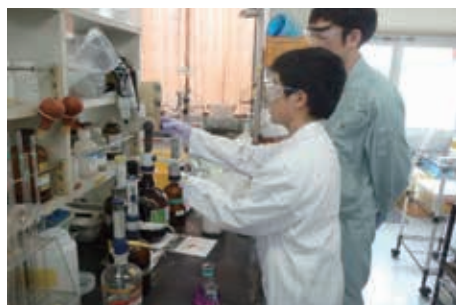
また、環境トラブル撲滅対策として、自社で所有している特定施設の設備安全点検を年2回実施し、摩耗劣化等の状況確認を行っています。



特定施設の設備安全点検

### 【社会とのコミュニケーション】

宇土市教育委員会依頼により、中学校等の教育課程の中の特別活動や、総合学習などの枠内で生徒さん達に地域社会の事業所で職業の現場を体験させるという趣旨で毎年執り行われ、地元の中学生複数名を受け入れ、職場体験を行っています。



中学生に対するCOD分析実習

## 会社概要

(2025年3月31日現在)

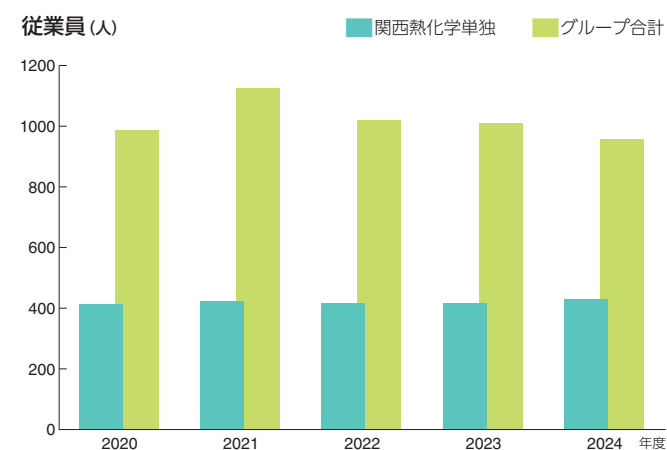
社名	関西熱化学株式会社 Kansai Coke and Chemicals Company, Limited
本社	兵庫県尼崎市潮江1丁目2番6号
代表者	取締役社長 辻川 昌徳
設立	1956年(昭和31年)8月1日
資本金	60億円
事業内容	●製鉄用コークスの製造販売 ●ガス、コールタルなどの化成品の製造販売 ほか
事業所	加古川工場 兵庫県加古川市金沢町7番地 尼崎事業所・研究開発センター 兵庫県尼崎市大浜町2丁目30番地 <a href="https://www.tkcc.co.jp/">https://www.tkcc.co.jp/</a>

### グループ会社

社名	株式会社MCエバテック MC Evolve Technologies Corporation
本社	兵庫県尼崎市潮江1丁目2番6号
代表者	代表取締役社長 山口 洋史
設立	1979年(昭和54年)1月
資本金	2億8000万円
事業内容	●炭素材事業 ●精密洗浄事業 ●分析事業 ●総合サービス事業 ●アクアクララ六甲事業
事業所	尼崎事業所 兵庫県尼崎市大浜町2丁目30番地 加古川事業所 兵庫県加古川市金沢町7番地 つくば分析センター 茨城県つくば市観音台1丁目25番地14 四日市分析センター 三重県四日市市大治田3丁目3番地17 熊本分析センター 熊本県宇土市北段原町230番地 <a href="https://www.mcet.co.jp/">https://www.mcet.co.jp/</a>

社名	尼崎ユーティリティサービス株式会社 Amagasaki Utility Service Corporation
本社	兵庫県尼崎市大浜町2丁目30番地
代表者	取締役社長 井上 朋彦
設立	1993年(平成5年)10月
資本金	1億円
事業内容	●自家発電事業 ●余剰電力の販売 ●蒸気の製造・販売 ●軟水および純水の製造・販売 ●窒素の製造・販売 ●水素の製造に関する業務

### 従業員(人)



### 売上高(億円)

